

大阪市立 矢田東小学校

- 所在地 住道矢田2-7-43
- 電話番号 06-6702-9877
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741700>
- 校長 梶原 進
- 標準服 なし
- 集団登校 なし



学校概要

【学校教育目標】 豊かな心を持ち、主体的に生き抜く子どもを育てる

【めざす子ども像】 なかよく助け合う子・すすんで取り組む子・つよい体にきたえる子

【校長先生のメッセージ】 本校は、東住吉区の南に位置します。大和川がすぐそばを流れ、田園風景のみられる自然豊かな環境に恵まれた地域です。今年度で創立56年を迎えます。子どもたちは、広い運動場に加え、ジャングルジムや雲梯・鉄棒のある芝生広がる緑豊かな中庭で元気いっぱい運動して、楽しく過ごしています。学校・家庭・地域で、学校教育目標の実現に向けて全力で取り組んでいます。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 家庭との連携を密に行い、生活指導案件に対して早期解決を図る。
- 全学級でいじめの認知件数と解消した件数などをまとめ、校内で共通理解を図り、組織的な対応を行う。
- 「特別の教科」道徳、道徳教育の充実を図り、自己肯定感・有用感を持てるようにする。
- 年間を通じて複数回、児童の実態に合った体験的な学習や、ゲストティーチャーによる授業を実施するなど、体験活動の充実を図る。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 基礎基本の定着を図り、個に応じた指導を進め主体的な学びを育む。
- 授業改善を推進する。
- 「矢田東漢字・計算クライミング」の継続実施や学習教材データ配信の活用等を工夫して行い、基礎学力の定着を図る。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICT機器の効果的な活用を図り、授業改善を行う。
- 教育活動全体の検証・改善によって教育の質を向上させる。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	39	58	44	41	39	43	264
学級数	2	2	2	2	1	2	11
特別支援学級							5

全国学力・学習状況調査結果（令和7年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

	国語	算数	理科
平均正答率（％）	58	48	42

国語、算数、理科ともに平均正答率は、全国・大阪市平均を下回っている。

国語は、大阪市とは7ポイント、全国とは8.8ポイントの差に縮まっている。「言語の特徴や使い方に関する事項」の正答率は、全国・大阪市よりも大幅に上回ることができた。しかし、「読むこと」に関しては、全国・大阪市平均と比べて10ポイント下回っている。正答率分布は、全体的に右寄りの正規分布に近くなった。

算数は、「データの活用」に関して、平均正答率が大幅に下回っている。しかし、正答率分布には、なだらかな正規分布の傾向がみられる。

理科は、「A区分」の平均正答率が低い。正答率分布は、国語・算数に比べて低位の集団が多く、やや二極化している。

国語と算数については、経年で分析すると、正答率が徐々に向上しており、基礎基本の定着が成果として現れ始めていると考える。今後とも、学力状況調査の結果をふまえて、今求められている学力について見通した授業の改善をしていく必要がある。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和7年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

種目別 平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
	男子	14.00	18.18	27.50	35.91	43.27	9.58	144.00	20.14	48.60
	女子	12.54	15.31	29.38	31.69	34.94	9.66	137.25	13.50	47.42

これまで継続して重点的に体力向上に努めた種目については、成果が現れて数値が向上している。体育科の授業やふだんの遊びにおいて、それぞれの学年・学級が工夫した成果がみられる。今年度の調査結果から、男女ともに「長座体前屈」「反復横跳び」の2種目が特に数値が低い。体の柔軟性、敏捷性が弱いと考えられる。長座体前屈は、大阪市・全国平均よりも、男子が6cm、女子が9cm下回っている。反復横跳びでは、男子は4点、女子は6点下回っている。体の柔軟性は、すべての運動において基礎となる体力要素であり、けがの予防につながるものでもある。他の学年においても同じような傾向がみられる場合は、次年度以降は、この柔軟性を測る「長座体前屈」に重点をおく必要がある。これまでの取り組みでも、年間を通して重点をおいた種目における伸びは、確実に見受けられる。これからも、年間を通して重点的に取り組んだものについても、継続的な運動の維持も必要である。それぞれの体力要素をまんべんなく身につけられるような体育科での学習、休み時間や放課後などの遊びを工夫していきたい。

基礎学力の定着を図る

毎週火・水・金に矢田東タイムを設定し、朝学習や英語学習、補充学習の時間を設定しています。また、学期末には「矢田東漢字・計算クライミング週間」を設定し、自分のペースで学習に取り組めるようにして、子どもの学力向上に努めています。朝の読書活動や図書委員会の児童による本の読み聞かせ、図書館開放などを行い、自然と本に親しむ環境を整えています。「読書ノート」を活用し、年目標50冊(高学年)・100冊(低学年)をめざして読書活動に親しみやすくしています。



矢田東小学校 出前授業

矢田東小学校では、主体的に学び続ける子どもを育てるため、「本物」と出会う機会を多くもつようにしています。その代表的な取り組みとしては、多種多様な業界の第一線で活躍している方をゲストティーチャーとしてお招きして行う出前授業です。

過去には、食品企業・プロサッカーチーム・プロ野球チーム・オリンピック日本代表出場選手・テレビ局・携帯電話会社・水道局・環境局・図書館などたくさんの企業、行政等と連携して授業を行いました。



なかよく助け合う集団育成

年間を通して、異学年集団(1年生～6年生)による「なかよし班」を編成し、計画的に活動しています。活動内容は、集会活動・東小フェスティバルなどです。これらの活動を通して、なかよく助け合う子どもの育成をねらい、相手の気持ちを受け止めながらすすんで他者と関われるようにしています。



つよい体にきたえる

矢田東小学校には、運動場のほかに中庭もあります。2時間目と3時間目の休憩時間に「業間体育」・「かけ足週間」・「なわとび週間」などの体育的取り組みを設定し、年間を通して体力の向上に努めています。過去には大阪市の陸上大会に参加し、自分の記録を確かめる場も設定しました。



家庭・地域との連携

- 「昔遊び体験」「商店街調べ」「校区めぐり」などの体験活動
- 「矢田東子ども安全見守り隊」の方々やPTAによる毎日の登下校の見守り活動
- 近隣校区における幼保小連携・小小連携・小中連携・支援学校との連携
- 放課後や土日に行われるスポーツクラブとの連携

